

平成 29～30 年度の運用調整費について

●平成 29 年度の運用調整費

新周波数帯への機器交換による局数増加を鑑み、会員の経費軽減措置として運用調整単価を下げる事に決定致しました（平成 27 年度第 5 回理事会にて審議承認、平成 28 年総会にて承認）。

ラジオマイク・イヤーマニター

※1 局あたりの単価、消費税別途

項目	単価（定款）	単価（28 年度）	単価（29 年度）
固 定	1,200 円	900 円	600 円
移 動	3,600 円	2,700 円	1,500 円

注:平成 29 年度運用調整費のご請求は、平成 28 年度末の全所有局数に上記単価をかけた金額になります。
新周波数帯機器へ移行している会員で、一時的な並行運用として現行 2・4 帯マイクが手元にある場合、廃棄の日程が決定しているものにつきましては局数としてカウントしません。

●平成 30 年度の運用調整費

固定・移動の区別だけではなく、周波数帯ごとの特性、TV ホワイトスペース運用調整協議会への負担金、並びに機構の運用調整業務経費を鑑みて検討した結果、下表の運用調整単価に決定致しました（平成 28 年度臨時理事会にて審議承認、平成 29 年通常総会にて承認）。

ラジオマイク・イヤーマニター

※1 局あたりの単価 消費税別途

項目	2・4 帯	WS または専用帯	WS+専用帯	1.2G
固 定	900 円	900 円	900 円	900 円
移 動	2,100 円	1,200 円	1,800 円	2,100 円

注:平成 30 年度運用調整費のご請求は、平成 29 年度末の全所有局数に上記単価をかけた金額になります。
新周波数帯機器へ移行している会員で、一時的な並行運用として現行 2・4 帯マイクが手元にある場合、廃棄の日程が決定しているものにつきましては局数としてカウントしません。